

平成を振り返る

新しい時代へ

あわら市の出来事

国内・世界の出来事



▲あわら夢ぐるま公園 (26年9月) ▲芦湯 (26年4月)



▲あわら夢ぐるま公園 (26年9月)



▲aキューブ(27年4月)



▲こあらっこでの育児相談 (28年4月)



▲ブランドスローガンロゴマーク(29年4月)

元号(西暦)

平成26年(2014)

あわら市制10周年記念シンポジウム開催(3月)、あわら温泉「芦湯」オープン(4月) 「ちはやふるweek in あわら」初開催(6月)、あわら夢ぐるま公園オープン(9月)

平成27年(2015)

あわら市観光PV完成(3月)、認定こども園スタート(4月) : 同時に、5歳児のこども園料を無料化 aキューブオープン(4月)、各証明書のコピー交付スタート(4月)、越前・加賀県境の館オープン(4月) 湯くわくDoor完成(5月)、あわら温泉開湯130周年祭開催(8月)

平成28年(2016)

「あわら市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定(10月)、茨城県下妻市と姉妹都市締結(11月)

平成29年(2017)

吉崎小学校・波松小学校休校(3月)、あわら市子育て世代包括支援センター(愛称「こあらっこ」)設置(4月) 越前加賀インバウンド推進機構設立(5月)、地域ブランド創出事業スタート(7月) : 翌年4月には、ブランドスローガンのロゴマーク決定

平成30年(2018)

県立芦原青年の家新築移転(7月)、バナソニック共同宅配ボックス実証実験スタート(10月) 「越前あわら観光大使」誕生(2月)、新郷小学校休校(3月) 柿原グラウンド陥没事故発生(9月)、温泉三丁目火災発生(10月) 平成30年豪雪発生(2月) : その他にも、べにや火災や豪雨、台風など災害多発

平成31年(2019)

国道8号福井バイパス全線開通(9月)、福井しあわせ元気国体・元氣大会開催(9~10月) 香美市姉妹都市締結10周年、紹興市友好都市締結35周年 まちむらとときぎプラン策定(3月)、あわら市観光振興戦略策定(3月) 市民窓口休日業務終了(3月)、近隣10市町と福井嶺北連携中核都市圏形成(4月)

新元号元年(2019)

インターハイカヌースプリント競技開催

新元号2年(2020)

北陸新幹線芦原温泉駅開業、「日本女子オープン」芦原ゴルフクラブで開催(9月)

新元号3年(2021)

北陸新幹線金沢〜敦賀間開業

新元号4年(2022)

新元号5年(2023)

新しい時代へ



北陸新幹線金沢〜敦賀間開業

東日本大震災から10年(3月)

東京オリンピック・パラリンピック(7-8月)

消費税率10%に(10月)

新天皇即位(5月1日)

西日本豪雨(6月~7月)

桐生祥秀選手、福井で100m日本新記録樹立(9月)

熊本地震(4月)

70年目の「原爆の日」「終戦の日」マイナバー通知、順次開始(8月)

消費税率8%に(4月)



▲平成30年豪雪(30年2月)



▲3つの小学校が休校に(28・29年3月)



▲あわら市観光PV完成(27年3月)



▲ちはやふるweek in あわら(26年6月)



郷土歴史資料館 だより

金津本陣IKOSSAに歴史を学びにいこう!

新規指定文化財(市指定)紹介2

先月に引き続き、新たな指定文化財の紹介をします。今回は「仲仕組創立記念之碑」です。本碑は、明治31年北陸線福井から金沢間の開通に伴い、鉄道輸送に携わる仲仕組が明治34年に創立された時の記念碑です。碑文には、鉄道開通に伴い、町が大いに発展していくことへの期待や、それを仲仕組が支えていく気概を読み取ることができます。

仲仕とは、元来、船積み作業の従事者を指す言葉でしたが、鉄道の積荷を扱う人々にも使われたことがこの碑から分かります。また、碑の裏面に記されている組合員の中には、元々仲仕であった人や陸送を担った馬借と思われる人もおり、鉄道の開通により打撃を受けた輸送業の人々が鉄道輸送の「仲仕組」に参加したことが分かります。

このように鉄道開通に伴う世相や近代の金津の様子をうかがい知ることができると、指定(歴史資料)となりました。



▲仲仕組創立記念之碑

郷土歴史資料館(金津本陣IKOSSA 2階) 休館日 月曜日・第四木曜日(祝日の場合はその翌日)

冬季テーマ展 展示品紹介3

現在開催中の冬季テーマ展「火のある暮らしと道具」の展示資料のうち、昔の調理場であった竈で使われた道具を二点紹介します。

羽釜は、ご飯を炊いたり、食べ物を煮たり、お湯を沸かしたりするための道具です。釜には鉤が付いており、調理中におきる吹きこぼれが竈の中に入らないように防いだほか、熱を逃がさない働きもあります。

火消壺は、残った炭火を入れて、火を消すための道具です。蓋を閉めると、徐々に火が消えていきました。完全に消えた後は、篩にかけ灰と炭に分けました。灰は畑の肥やしなどに、炭は火をおこす際に再利用されました。

このほかにも、だるまストーブや火鉢などの昔の道具を展示しています。5月19日(日)まで開催していますので、足をお運びください。また、ご自宅に眠っている民具がありましたら、当資料館までご連絡ください。



▲羽釜(左)と火消壺(右)

開館時間 9時30分~18時(最終入館17時30分) 問合せ ☎73-5158 FAX73-1038 ✉maibun@city.awara.lg.jp

イベント情報

えちぜん鉄道で行く

「大人の遠足~あなたの知らない三國へ~」

坂井市三國湊の街並みを、ボランティアガイドの案内で歴史散策します。昼は、三國観光ホテルで豪華昼食を楽しめます。龍翔館や滝谷寺の見学のほか、住職の話も聞くことができます。

とき 4月14日(日) 8時15分 集合(予定)

集合 あわら湯のまち駅

* 詳細は後日参加者に連絡します。

対象 あわら市えちぜん鉄道サポートの会会員

* 非会員の人は、当日に入会することで参加可能(年会費 個人1000円、ファミリー500円が別途必要)。

参加費 3000円 * 往復電車代、昼食代を含む。

定員 先着40人

申込み 【期限】4月3日(水)

あわら市えちぜん鉄道サポートの会事務局(生活環境課内)

☎73-8017

✉seikatsu@city.awara.lg.jp

蓮如の里ふるさとの道を歩く会

蓮如忌の季節が近づいてきました。春の自然の中、あわら市の史跡を巡りながら吉崎まで歩いてみませんか。

とき 4月28日(日) * 雨天中止

集合 あわら市役所 西側駐車場

7時~ 受け付け

7時15分~ 出発式

コース あわら市役所(7時30分発) → 大鳥神社 → 雨夜塚 → 千束一里塚 → 多賀谷左近の墓 → 嫁威の谷 → 細呂木関所 → のこぎり坂 → 一字一石墳 → 吉崎御山(12時到着予定)《自由散策》 =バス移動=あわら市役所(14時ごろ到着)

対象 元気に歩ける人(約13km歩きます)

* 小学生以下は保護者同伴

参加費 500円(保険料ほか) * 当日集金

定員 先着60人

準備物 飲み物、おにぎりなど、動きやすい服装(とびつき団子とお茶を用意しています)

申込み 【期限】4月17日(水)

住所・氏名・年齢・電話番号・帰りのバス利用の有無をお知らせください。

文化学習課 ☎73-8041